

花ちゃん、オー君、モンタ博士、フツ博士のかくかくぞうが立ててくさ

国立市立国立第七小学校

平成30年1月10日 NO.84 (484)

こわいと思う人は見ないで
ください。こわいと感じる人の
ために、写真はすこし小さくし
ました。
ボールペンは大きさを知っ
てもらうためにおきました。



オー君 「うわあー！これも『がいこつ』だ。でも、シカとはちがうみたいだぞ。」

花ちゃん 「キャー！こわい！」

モンタ博士「またまたごめん。こわいと思う人は、もう見ないでください。ごめんなさい。」

オー君 「モンタ博士！これは何ですか。」

モンタ博士「これもモンタ博士の宝物なんだ。ちょっとシカとはちがうでしょ。」

オー君 「何かの動物の頭の骨ですね。」

花ちゃん 「モンタ博士！本物ですか。」

モンタ博士「もちろんだよ。本物だよ。すごいだろう。」

オー君 「どうしてそんなにすごいのですか。」

モンタ博士「それはね、この動物がすごいんだ。めずらしいんだ。めったに見られないさ。」

オー君 「ますます聞きたくなりました。これは何の動物の頭蓋骨なのですか。」

モンタ博士「これはね、カモシカだよ。」

オー君 「カモシカ？名前は知っているけど、初めてです。」

花ちゃん 「カモシカって、特別天然記念物ですね。」

モンタ博士「よく知ってるね。花ちゃん！さすがだね。」

花ちゃん 「でも、どうしてモンタ博士が持っているのですか。」

花ちゃん 「なぜ、モンタラボにあるのですか。」

モンタ博士 「^{やつがたけ}ハヶ岳に^{しょくぶつかんさつ}植物観察に行った時に、^み見つけて^{ひろ}拾ってきたのさ。」

花ちゃん 「^み見つけた？^{ひろ}拾ってきた？」

モンタ博士 「そうだよ。モンタ^{はかせ}博士がね、いつものように^{みち}道のないような^{ところ}所でも^{はい}入ってしまうんだけど、ある時、^{とおい}遠くに^{しろ}白い^{ほね}骨のようなものがあるって、またシカかなと^{おも}思って^{ちか}近づいたら、^きちょっとちがうことに^き気づいてね。^も持ち帰って^{しら}調べたら、カモシカだということがわかったんだ。」

花ちゃん 「カモシカって、^{どうぶつ}どういう動物なんですか。」

オー君 「カモシカとシカとは、^{なまえ}名前がよく似ているけど^{おな}同じ^{なかま}仲間なんですか。」

モンタ博士 「カモシカは^{ほにゅうるい}哺乳類の^{ぐうていもく}偶蹄目といわれるもので、ウシ、ブタ、ヤギ、シカ、ラクダ、キリン、カバ、イノシシなどと^{おな}同じ^{なかま}仲間なんだ。」

オー君 「^{ぐうていもく}偶蹄目というのは、^{どうぶつ}どういうものですか。」

モンタ博士 「それは、^{ひづめ}蹄が^{ぐうすうほん}偶数本あるのが^{とくちょう}特徴なんだよ。それから、シカとカモシカの^{ちが}違いだけど、シカはシカ科でトナカイなどもそうだね。それから、カモシカはウシ科という^{なかま}仲間なんだよ。」

花ちゃん 「ウシの^{なかま}仲間ということは、^{くさ}草を^{そうしょくどうぶつ}たべる草食動物ということですか。」

モンタ博士 「そのとおりだね。木の^き葉もよく^た食べて、カモシカの^す好きな^た食べ物とは、コナラなどのナラ属の^{そく}植物とか、アオキなどの^{じょうりよくじゆ}常緑樹、さらにサクラなども^す好きみたいだよ。ドングリなどの木の^き実もよく^た食べるそうさ。」

オー君 「ところで、^た食べたらウンチもするでしょうね。どんなウンチなのでしょう。」

モンタ博士 「^{おもしろい}質問だね。でも、^{だいじ}大事なことだね。まず、シカとの^{ひかく}比較だけど、シカは^{ある}歩きながら^{ある}ぼろぼろとあちこちにウンチをするけど、カモシカは、とても^{きようぎ}お行儀がいいんだよ。^{ある}歩きながらではなく、^ききちんとしゃがみこんで、^{ゆっくり}と^{する}するんだよ。トイレの^{ばしょ}場所も^き決ま^{かしょ}って一カ所にするんだ。」

オー君 「^{かたち}どんな形のウンチなんですか。」

モンタ博士 「シカは^{ちやうえんけい}長円形だけど、カモシカは、ドングリのような^{かたち}形らしいよ。モンタ^{はかせ}博士も^み見たことがないから、^{こんど}今度どこかで^み見つけてみたいね。」